

【参考】令和6年度 集団指導に掲示した資料です

社会福祉施設での感染症対策



船橋市保健所 健康危機対策課
新興・再興感染症係

研修会の目的とゴール

感染症対策の正しい方法を理解し、実践できる

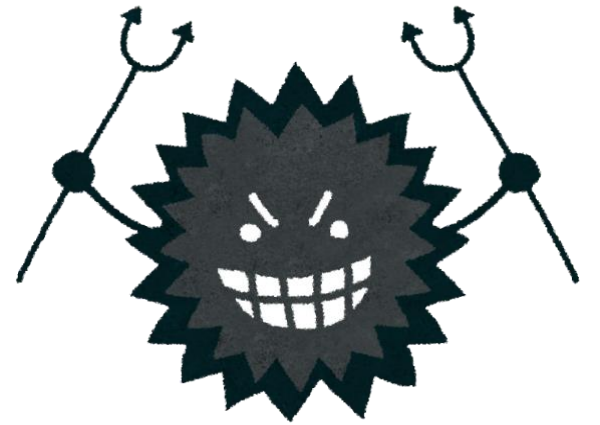


感染症の発生予防
感染症発生時の拡大防止



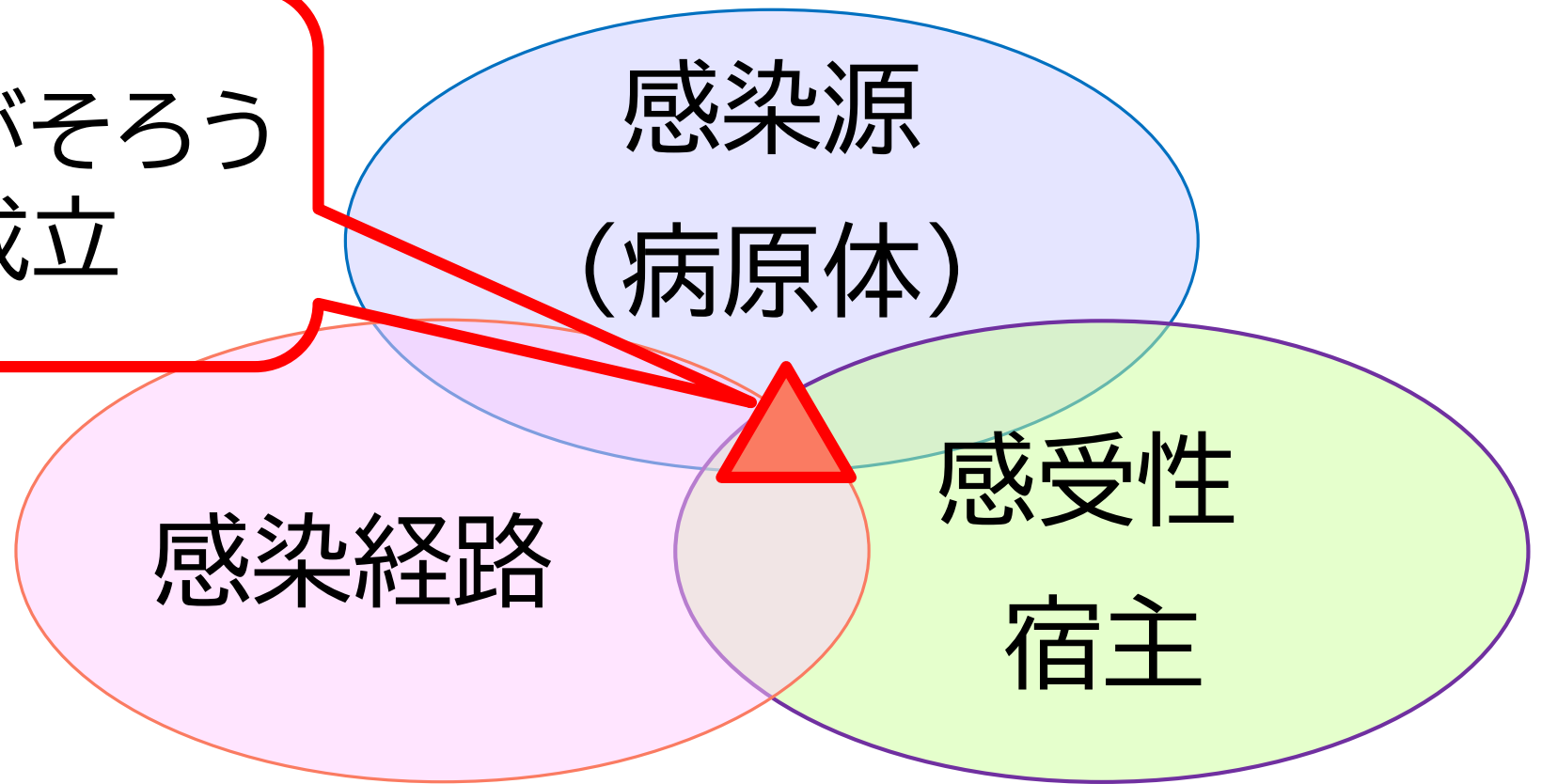
1. 感染症とは

病気を引き起こす病原体が
体内に入り増えることで、
様々な症状を引き起こす病気



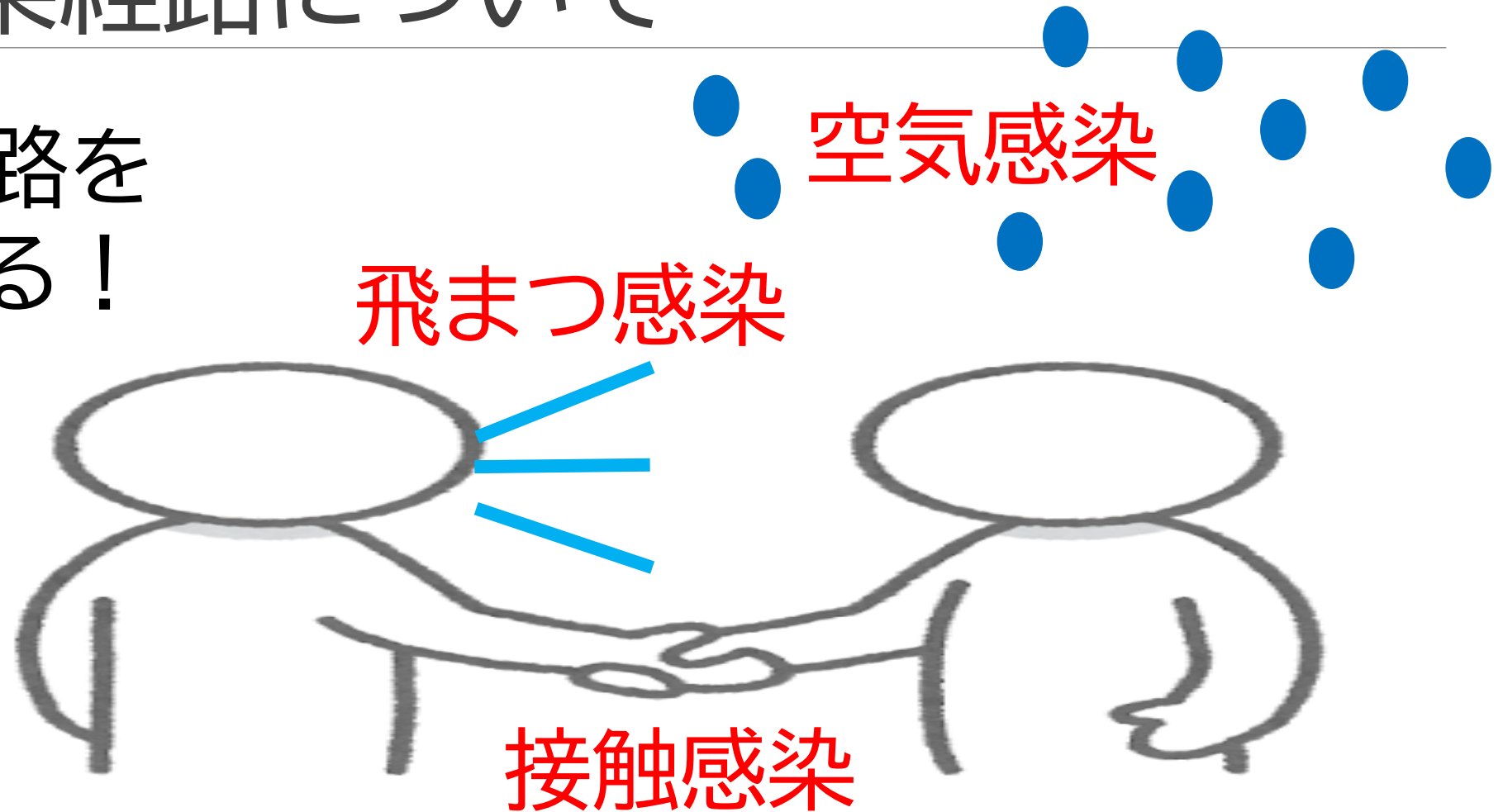
1) 感染が成立する3つの要因

3つの要素がそろう
= 感染成立



2) 感染経路について

感染経路を
遮断する！



3)潜伏期間について

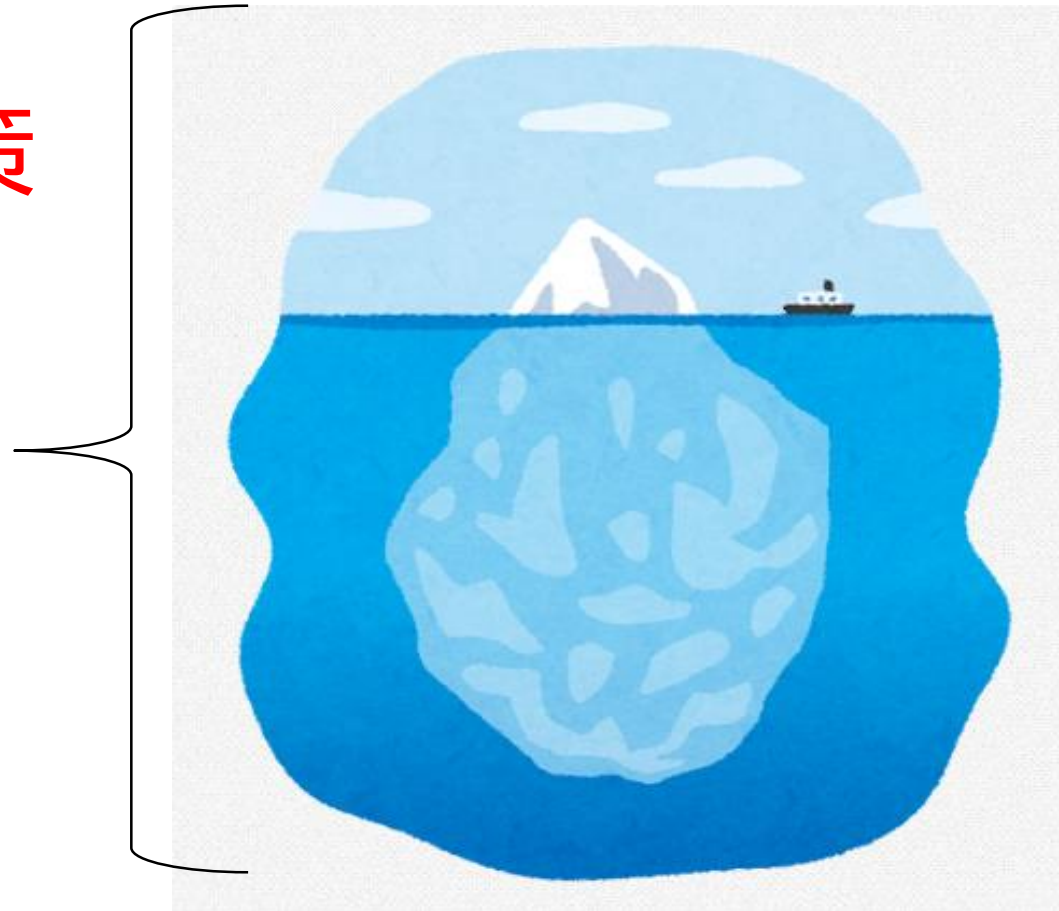
感染源に暴露してから、発症するまでの期間

潜伏期間の例

感染症	潜伏期間
新型コロナウイルス感染症	2－3日
インフルエンザ	1－7日
感染性胃腸炎(ノロウィルス)	1－3日

4)標準予防策の考え方

標準予防策
必要！



検査陽性

検査未実施
ウィンドウ期
未知の病原体

2. 手指衛生の目的

手はあらゆるケアに使われるため

ウイルスや細菌が、常に手についている

→汚染された手によって感染拡大を防ぐ



1)手洗いと手指消毒

目に見える汚れ

あるとき 液体石けんと流水による手洗い
物理的に洗い流せる

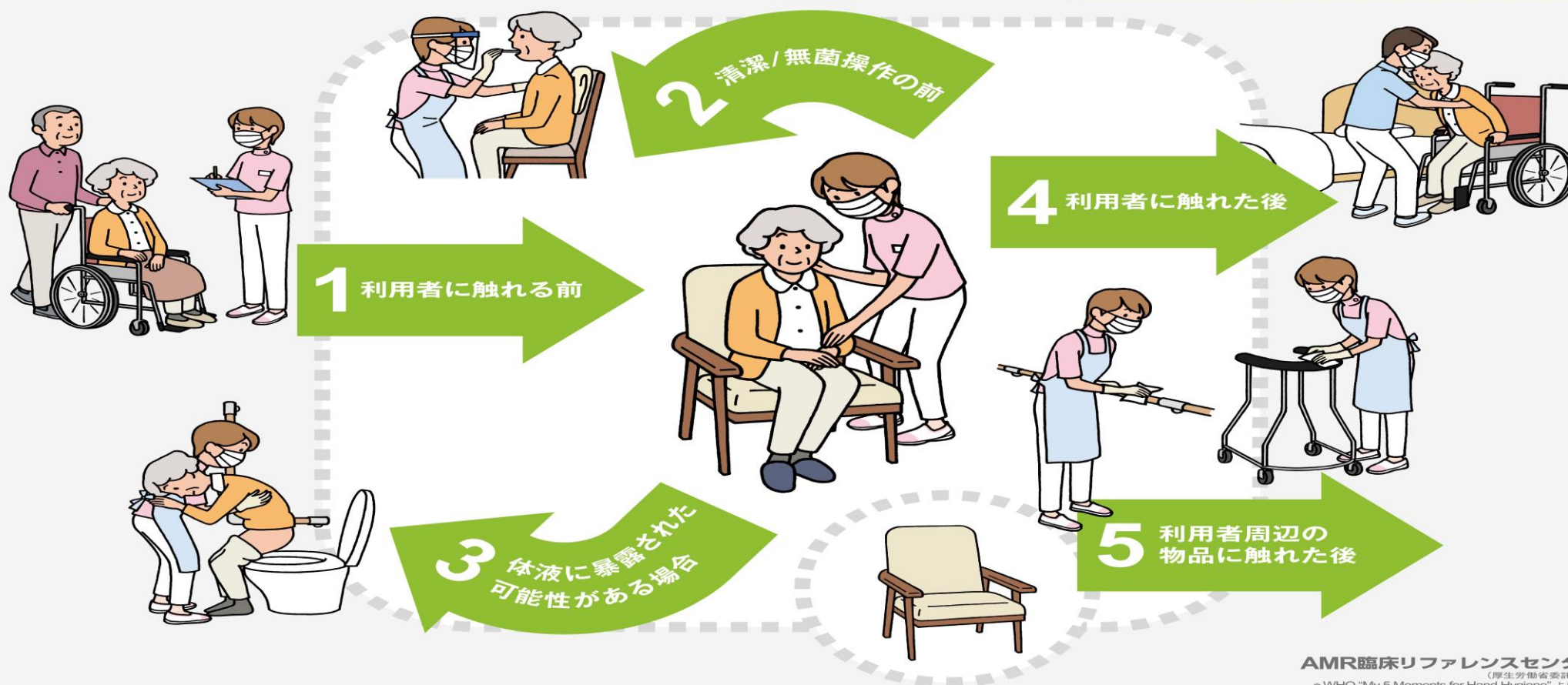


ないとき 消毒薬による手指消毒
いつでも手軽にできる
汚れがあると効果減少



2) 1ケア1消毒の徹底と5つのタイミング

手指衛生 5つのタイミング



5つのタイミング

1 利用者に触れる前



2 清潔・無菌操作の前



5つのタイミング

3 体液に暴露された
可能性がある場合



4 利用者に触れた後

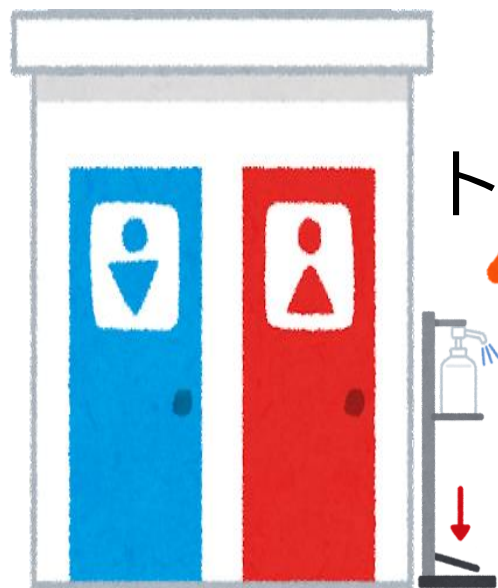


5つのタイミング

5 利用者周辺の物品に触れた後



3) 手指消毒がすぐできる環境を整える



トイレの前



ワゴンの上



居室の前



個人携帯

手指消毒ポイント①

手が**乾燥**している

手に何もつけていない

爪の長さは短い



手指消毒のポイント②

手のひら全体にいきわたる量

ポンプ式のボトルの場合

⇒ 下まで押し切って出る量 適正量2-3ml

15秒以上かけて乾燥するまでしっかり擦りこむ

正しい手指消毒の方法

①爪



②手のひら



③手の甲



④指の間



⑤親指



⑥手首



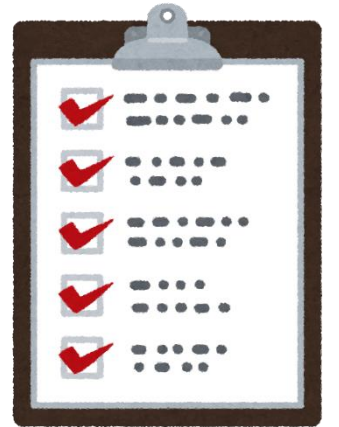
いつでも、だれでも

適切な方法で手指消毒を行うためには？

研修会

掲示する

手指消毒の使用量を管理し、周知する

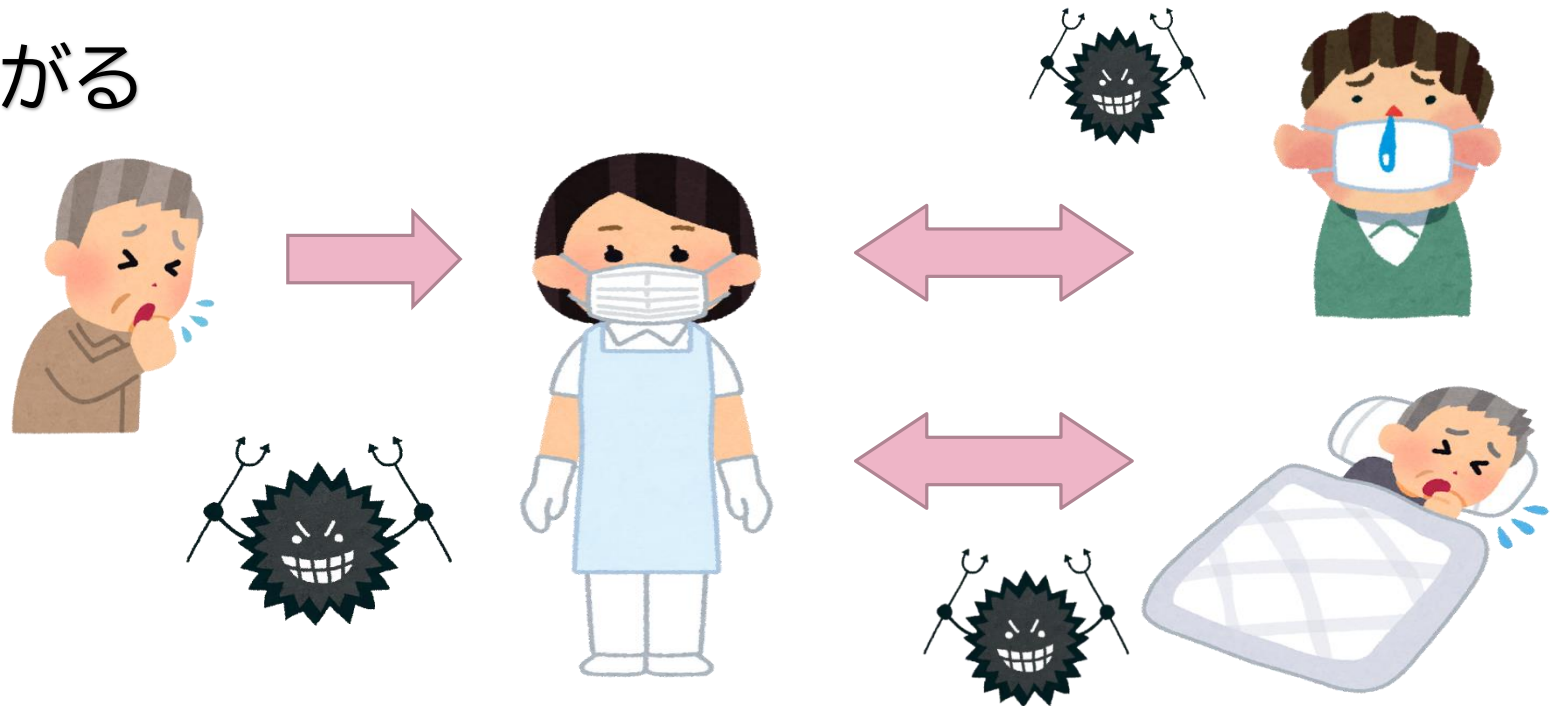


あなたが病原体の“運び屋”にならない

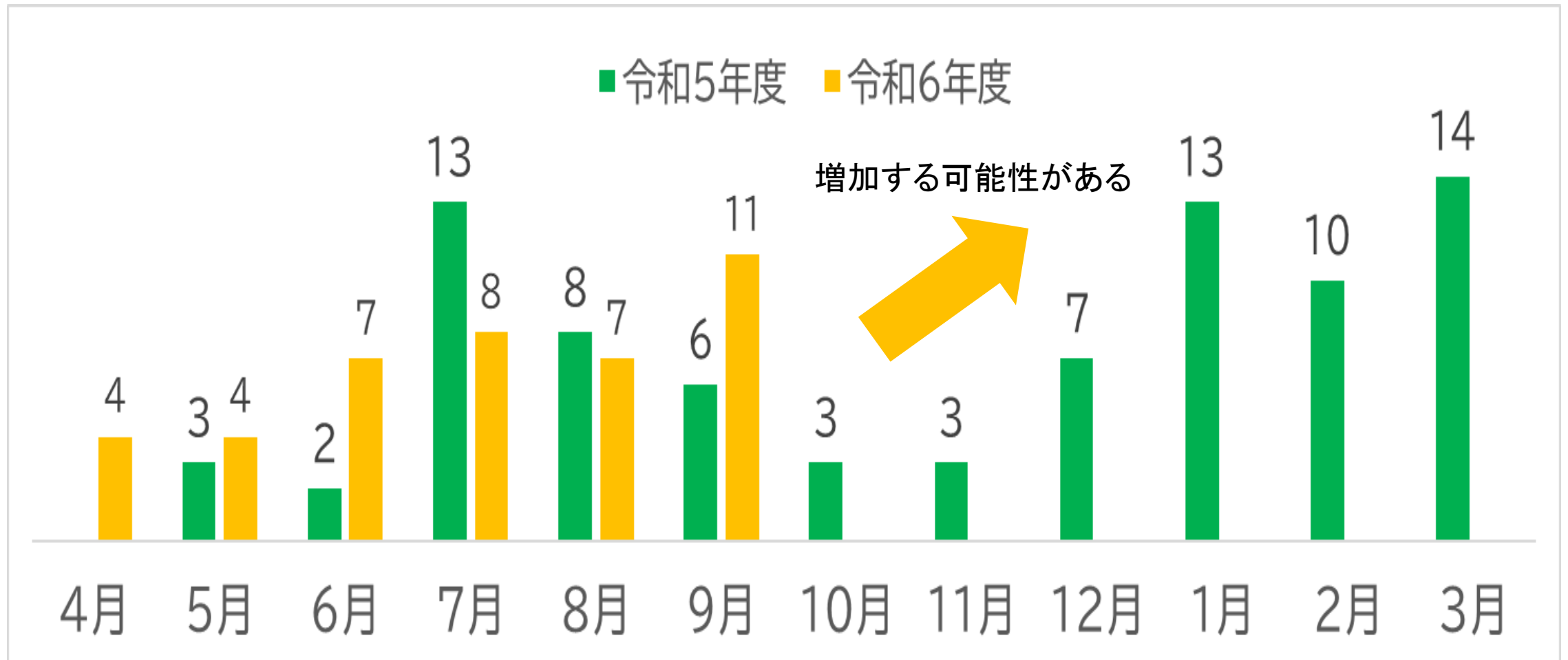
感染者から病原体をもらわない

自分が病原体の運び屋にならない

→**感染拡大防止**につながる



高齢者施設等の集団感染の報告件数 (新型コロナウイルス感染症)



まとめ

感染症を持ち込まない・感染拡大させない
→感染経路を遮断

手指衛生

1ケア1消毒の徹底と5つのタイミング
正しい手指消毒の方法で行う
手指消毒ができる環境を整える

